風景泥棒3
-Landscape Rippers 3-

京都府では、「海の京都（府北部）」「森の京都（府中部）」「お茶の京都（府南部）」エリアの歴史や風土、有形文化財や名勝、景観、豊かな自然や生活文化等を題材としたアートプロジェクトを展開してきました。今年度は、想像力を持つアートが新たな資本として、来るべき社会を変えて行く可能性をテーマにアートフェスティバルを開催します。地域文化と先端技術を組み合わせたデジタルアートによる空間演出や、地域文化資源発信型のアーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展示によって、地域の文化資源の魅力を引き出し、国内外へ発信、観光インバウンドの拡充と地域経済の活性化につながる取組として実施します。

2019年度のアーティスト・イン・レジデンス事業展覧会「大京都2019 in 京丹後」からスタートした『風景泥棒』という展覧会は、本年度で３回目の開催を迎えます。

風景泥棒とは実際に何かを盗むのではなく、アートを通じて「風景の見え方を変化させてしまう」という意味です。ここで意味する風景とは人の営みや文化、歴史など広い意味を含みます。アートは時に、当たり前に見える日常の風景が作品鑑賞をきっかけに「全く違ったものに見えてしまう」という経験を生むことがあります。それは必ずしも全ての人に起こることとは約束できませんが、具体的には目に映る風景がまるで誰かの絵の中の世界に感じたり、壁の落書きが、見知らぬ外国の土地を思い起こさせたりという体験です。

2019年度の展覧会は丹後の近代化を象徴するちりめん織の名家「吉村商店」の工場跡をメイン会場として開催され、2020年度からは京丹後在住のアーティストも加え、京丹後市内各所に会場を拡大しました。３回目となる2021年度は網野町浅茂川地区と三津漁港を舞台とします。

2018年のアーティスト・イン・レジデンス事業「京都: Re-Search」から4年間、同じアーティスト達が同じ場所に通い続ける芸術祭は稀です。また外から来たアーティストと並んで地域に根ざしたアーティスト達が同様に展覧会に参加する例は少ないです。『風景泥棒』ではそのような継続性を重視したとき、地域のアートに対する受け取り方の変化、アーティスト作品の変化など、時間がもたらすアートと地域の関係性の変化に着目した企画となります。是非ともご高覧ください。

公共機関でのアクセス

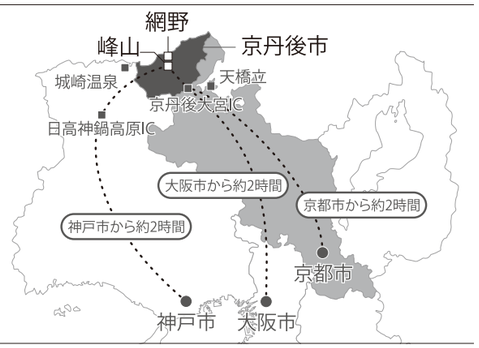
京都 ― JR山陰本線＋京都丹後鉄道 約2時間45分 ―
大阪 ― JR福知山線＋京都丹後鉄道 約3時間30分 ―
京都 ― 丹海高速バス 約3時間10分 ―
→ 網野駅 ― 丹海バス 約8分＋徒歩約20分 → 浅茂川エリア ― 徒歩約20分＋丹海バス約15分＋徒歩3分 → 三津漁港
網野駅 ― 丹海バス 約20分 → 三津漁港

車でのアクセスと駐車場

京都市内 ― 京都縦貫自動車道経由 約2時間 ―
大阪市内 ― 名神高速道路・京都縦貫自動車道経由 約2時間10分 ―
→ 京丹後大宮IC ― 一般道 約30分 → 網野町

三津漁港 ― 一般道 約15分 ― 網野町

※展示会場周辺（会場マップを参照）の駐車場をご利用下さい。



プログラム・イベント

キックオフフォーラム（オンライン開催中）「**想像力という〈資本〉―来るべき社会とアートの役割―**」
配信期間 2021年11月7日（日）まで　参加者 オードリー・タン ほか　URL alternative-kyoto.jp/news/275

オンライン開催中 ＞

SNS
alternative.kyoto.AK
@alternative.kyoto
@alt_kyoto_

ウェブサイト
https://alternative-kyoto.jp/

【ご来場の皆さまへ（新型コロナウィルス感染拡大防止のために）】
□ マスクを着用の上、互いの距離を１～２m程度あけてください。　□ 発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。
なお、新型コロナウィルス感染症の拡大状況により、実施内容を変更する場合があります。ご了承ください。

ALTERNATIVE KYOTO

想像力という〈資本〉

京都府域展開アートフェスティバル　もうひとつの京都

Imagination as a Form of "Capital" in Kyotango

2021 9.24 fri - 11.7 sun

alternative-kyoto.jp/exhibition/kyotango/

in 京丹後

上＝京丹後八丁浜シーサイドパークの風景　中＝SIDE CORE《岬のサイクロプス》2019、大京都 2019 in 京丹後、京都　下＝SIDE CORE《岬のサイクロプス》2020、大京都 2020 in 京丹後、京都

Artists

SIDE CORE
サイドコア

石毛健太
ISHIGE Kenta

田中良佑
TANAKA Ryosuke

鷲尾怜
WASHIO Ray

BIEN
ビエン

DAISAK
ダイサク

NTsKi
エヌ・ティー・エス・ケー・アイ

川勝小遥
KAWAKATSU Koharu

2021年9月24日（金）－11月7日（日）

網野町浅茂川地区周辺／三津漁港周辺　入場無料

10:00-17:00〈16:30最終受付〉金・土・日・祝のみ、11.4（木）は臨時公開

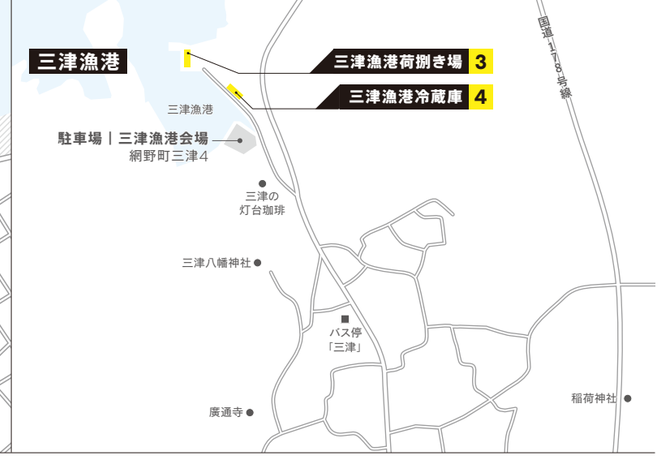
※会期や時間等は予告なく変更になる場合がございます。

問い合わせ先　京都:Re-Search実行委員会事務局　〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府文化スポーツ部文化芸術課内　**電話番号**　075-414-4287　**E-MAIL** bungei@pref.kyoto.lg.jp

主催　京都:Re-Search実行委員会（京都府、京丹後市、与謝野町、八幡市、南丹市）

ALTERNATIVE KYOTO 公式ウェブサイトはこちらから

令和３年度文化資源活用推進事業



1 元油善鉄筋工場
〒629-3104 京丹後市網野町浅茂川273-1

2 元田重機業（株）織物工場
〒629-3104 京丹後市網野町浅茂川246

3 三津漁港荷捌き場 4 三津漁港冷蔵庫
〒629-3111 京丹後市網野町三津4

レンタルについて

e-Bikeレンタサイクル
京丹後市観光公社 網野町支部
TEL 0772-72-0900 営業時間 9:00–17:00

レンタカー
100円レンタカー京丹後店
TEL 0772-72-0412 営業時間 8:30-18:00

飲食・宿泊について

京丹後市観光公社、同網野町支部ウェブサイトをご参考ください。（閲覧はページ右端のQRをご活用ください）

京丹後ナビ：
https://www.kyotango.gr.jp/
ようこそあみの町へ：
https://amino-info.gr.jp/

エリア間の移動について

浅茂川会場
- 網野駅：車移動:約8分／バス移動:丹海バス約5分＋徒歩約20分
- 三津漁港：車移動:約10分／バス移動:徒歩約20分＋丹海バス約15分＋徒歩約3分

網野駅 ⟷ 三津漁港：車移動:一般道 約15分／バス移動:丹海バス 約20分+徒歩3分

ALTERNATIVE KYOTO 周辺エリア

in 宮津・天橋立「天（アマ）への架け橋」
会場 天橋立公園/元伊勢籠神社/丹後国分寺跡

in 与謝野「シルクロード–Boundaries–」
会場 旧加悦町役場庁舎

※会期、展示場所・時間等の詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。

周遊バス／船

バス運行日 9/26（日）、10/2（土）、10/10（日）、10/16（土）、10/24（日）、10/30（土）、11/3（水・祝）、11/6（土）

船運行日 10/10（日）完全予約制（申し込み多数の場合は抽選）
※タイムテーブル、ご予約等はページ右端のQRをご参照ください

01
SIDE CORE
サイドコア

2 元田重機業（株）織物工場2F

《岬のサイクロプス 2021》

本作は2018年より取り組んでいる、経ヶ岬灯台に関する連作の最終作品です。現代では無人となり、数も減っていく灯台自体を神話の巨人に擬え「岬のサイクロプス」という同タイトルで3年間制作をしてきました。経ヶ岬灯台にアクションを起こす作品から始まり、灯台と周辺の軍事的背景、灯台が建設された厳しい気候や地形についてなど、灯台を通して見えてきた京丹後の近代史に焦点を当ててきました。制作3年目となる今回は今までのリサーチに加え、過去にあった灯台など海の環境に焦点を当てた新作を展示します。4年間の時間をかけなければ見えてこなかった物事に着目していきます。

SIDE CORE ｜アートコレクティブ
2012年より活動開始。メンバーは高須咲恵、松下徹、西広太志。ストリートカルチャーを切り口に様々なアートプロジェクトを展開している。「風景にノイズを起こす」をテーマに、都市や地域でのリサーチを土台としてアクションを伴った作品を制作。全てのプロジェクトは、公共空間における視点や思考を転換させ、表現や行動を拡張することを目的としている。近年参加した主な展覧会に「under pressure」(2021、国際芸術センター青森、青森)、「地球、神宮前、空き地」/ 水の波紋展2021（東京、青山周辺）など

02
石毛健太
ISHIGE Kenta

2 元田重機業（株）織物工場3F
4 三津漁港冷蔵庫

《みえる》

４年間を通じ、京丹後へ訪れる度にこの地域も自分自身も変化があった、というかここ２年は全てが目まぐるしく変化していた。そういう変わり続ける事柄とは対照的に、ここの空と山と海は初めて訪れた時から今日まで変わることなく鮮烈だった。我々は普段からあまりに多くを観て・視て・診て・看て、結果、ありのままそこで起きていることが「みえる」機会を失っている。「風景を観る」ではなく「光景がみえる」ために、作為を施す以前のここに宿っている事実のために、太陽光の反射が外景として映り込む装置と、太陽光を収斂して発火させる装置を作る。

石毛健太 ｜美術家、エキシビションメーカー、他副業多数
2018年東京藝術大学大学院修士課程修了。今年初めて海に入ったら複数箇所をクラゲに刺された。近年の主な個展にアイオーン（BIYONG POINT,2020）、プロジェクトにSCAN THE WORLD、インストールメンツ、Urban Research Groupなどがある。主な企画にAnd yet we continue to breathe.（ANBTokyo,2020）などがある。

03
田中良佑
TANAKA Ryosuke

1 元油善鉄筋工場1F

《降り積もる影》

僕が今住んでるのは東京だけど、例えば今日人が一人いなくなっても、そこは微動だにしない。だけど、僕が4年通っている京丹後の味土野という山奥の村は、現在移住者の方2人だけが住んでいる場所で（昨年は3人だったけど1人出られた）一人の足跡が重い。去った人も今住む人もそれぞれの人生の決断だけど、そこで生きた跡形はやがて消え去ってしまう。僕はそれが名残惜しくて仕方がない。できることならあなたを引き留めたい。積もる話があるわけではないけど、消え去ってほしくない。それは記録としてでなく、消えない影が、そこに降り積もっていてほしい。

田中良佑 ｜アーティスト
1990年 香川県生まれ。東京都在住。東京藝術大学大学院修士課程美術研究科壁画専攻修了。社会に溢れるとても受け止めきれない情報、そして人生を、必死に実感できるものとして想像して、世界との、人間との距離を変えて生きたいと強く願っている。「Exultation is the going」（東京・2020）「hello/ENTER」（シンガポール/東京・2020）「working/editing制作と編集」（東京・2020）「Nonsense Agency」（台湾・2019）「As a flower」（個展/東京・2019）など。

04
鷲尾怜
WASHIO Ray

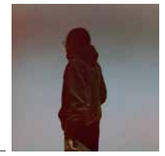
1 元油善鉄筋工場2F

《for mi》

刈り払い機で、草を刈っている。刈りやすかったり刈りにくかったりする。臭かったり臭くなかったりする。大きな岩やきれいな花は自然と避けられていく。歩けなかった場所が歩けるようになっていく。こんなに広かったんだとか思ったりする。色褪せたボールや毛布のようなものが見つかる。4年の間、あるいはもっと長い間、見過ごしていたものたちが現れてくる。 私はここでただ、名前のない日々を過ごした。気づくと、miがいたんだ。こうして、この場所で出会えることを知っていたかのような。普通の感じで。

鷲尾怜 ｜アーティスト
1995年 東京都生まれ。制作の極私的あるいは社会的実践について考える。「クロスポイント」（W+K+ Gallery・2017）「セコンドハンド」（アキバタマビ21・2018）「ぼくらとみんなは生きている5〜持続可能な愛のステージ〜」（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA・2019）「ぼくらとみんなは生きている10〜豚の旅ともいいきれない〜」（四谷未確認スタジオ・2020）

05
BIEN
ビエン



3 三津漁港荷捌き場

《15》

京丹後の海岸道路沿いに建つ「最北子午線塔」には、日本標準時刻と世界標準時刻であるイギリスにあるグリニッジ天文台の時刻が表示されている。そこを訪れた際に、携帯電話をたしかめると、塔の時刻が15秒ずれていることに気がついた。今や携帯電話で正確な時刻が分かるにも関わらず、記念碑的なオブジェとして、当然正確だと信頼を寄せたその時刻がずれていたことから、当たり前のように規定された時間で生きる自分に気付かされた。本来揃うはずのなかった、かつての「個人」の時間感覚に思いを馳せ、世界と15秒ずれていた京丹後の港で時を刻む。

BIEN ｜アーティスト
1993年東京都生まれ。ドローイング表現を基礎とし、絵画や彫刻など多様なメディアで作品を制作。アニメのキャラクターといったフィクションが生み出すかたち、文字や記号などの表象に着目し、それらが持つかたちや意味を解体／再構築する抽象表現を展開する。主な展覧会に、個展「DUSKDAWNDUST」（PARCEL,HARUKAITO by island、東京、2021）など。

06
DAISAK＋NTsKi＋川勝小遥
ダイサク＋エヌ・ティー・エス・ケー・アイ＋KAWAKATSU Koharu

DAISAK

NTsKi

川勝小遥

2 元田重機業（株）織物工場1F

《ドルフィン・マン》

ここ京丹後にはイルカが稀に現れるらしい。作品タイトルの「ドルフィン・マン」とは会場にある小屋に住んでいる男の通称である。近所の人から勝手にそう呼ばれている「ドルフィン・マン」とは一体何をしている人物なのか。誰も詳しく知らないが、仕事なのか趣味なのかイルカに纏わる何かをしていることは間違いない。この作品は学生時代を京丹後で過ごしたNTsKiが、海沿いに住む髭の生えた謎めいた人物に好奇心を抱いていたという実体験がモデルになっている。「ドルフィン・マン」は世界中に点在していて、あなたの街にも住んでいるかもしれない。

DAISAK ｜アーティスト
1986年、京都生まれ京丹後在住。京都精華大学大学院修了。地球上に存在する全ての物を吸収し、主に陶芸技法を使い器や置物などNEWOLDな焼き物を製作している。 個展「スペースムージースムーズ」（VOU、京都、2020）「SLEEPING FINAL STUFF」（BAF STUDIO、東京、2020）

NTsKi ｜アーティスト/ミュージシャン
音楽・写真・映像で場所や時代を超えた記憶や気配を具現化する。楽曲・MV等のセルフプロデュースから流通管理までもアートと捉え、表現メディアを横断する共感覚を切り開いている。2021年ファースト・アルバム『Orca』を米オハイオのレーベル〈Orange Milk〉/〈EM Records〉よりリリース。主な活動に2020年「大京都」（京丹後市）、2021年「４面鏡 / Quad Mirror」（PARCEL）などがある。

川勝小遥 ｜アートプロデューサー/アーティスト/万年倉庫 代表 他
1990年京都市生まれ。東京造形大学サステナブルプロジェクト専攻卒業。 東京を拠点にしながら、京都府宮津市でアーティストのレストハウス“万年倉庫”、自身の素質を知る社交場“バナナナイト”、VR SNSで個を謳歌する座談会“Bar I am I.”を主催しつつ、アートイベントを劇場という感覚で手掛けている。また、現代社会における優劣の定義をテーマに、発光装置や既製品を用いた渋アダルトポップな世界観でインスタレーション表現をしている。

モデルコース

日帰りプラン

8:38	**京都駅発** 電車移動
11:23	**網野駅着**
	昼食
12:16	**網野駅バス停発** バス移動
12:24	**網野高校前バス停** 徒歩約20分
	八丁浜海岸沿い
12:45	**2 元田重機業（株）織物工場 作品鑑賞**
	徒歩移動約2分
13:15	**1 元油善鉄筋工場作品鑑賞**
14:00	**浅茂川会場周辺散策**
	八丁浜シーサイドパーク、浅茂川漁港など
14:30	**会場出発** 徒歩移動約20分
15:01	**網野バス停** バス移動
15:17	**三津バス停** 徒歩移動約3分
15:21	**3 4 三津漁港作品鑑賞**
	三津漁港周辺散策など
	徒歩移動約3分
17:01	**三津バス停** バス移動
17:19	**網野駅バス停着**
17:37	**網野駅発 天橋立・京都方面へ**

※車の場合も同様のルートがオススメです。
※宿泊プランは下記のQRへ

関連・周辺イベント

1.鑑賞ツアー
日時 10月9日（土）13:00-（予定）
定員 10名
【事前申し込み制】
ゲスト、ツアー詳細＆申込みは下記のQRをご覧ください

2.三津の灯台50周年点灯式
日時 10月2日（土）
ビーチコーミング 10:00-
ワークショップ 13:00-16:00
パフォーマンス 17:30-18:30
会場 三津漁港周辺
ゲスト 高橋臨太郎

3.小嶋庵お披露目会
日時 10月10日（日） 10:00-17:00
会場 小嶋庵 京丹後市網野町浅茂川266

4.Tasty TANGO
〜「たんちょす」から食の新しい楽しみ方を見つけよう〜
日時 10月17日（日）-11月7日（日）
会場 京丹後市内飲食店、旅館等
WEB tasty-tango.com

5.浅茂川区文化祭
日時 10月31日（日） 10:00-15:00
会場 浅茂川区民会館

6.第70回京丹後ちりめん祭
日時 11月3日（水・祝）
会場 網野市街地・アミティ丹後周辺

周遊バス／船、観光情報、モデルコース、鑑賞ツアーの申込等、詳細については
こちらをご覧ください。
http://alternative-kyoto.jp/news/kyotango/